



さやだより

令和3年3月号

今月のテーマ 「ワクチン」 です！

✓ ワクチンってなに？

私たちの周りにはウイルスや細菌などの微生物が存在しています。特に、病気を引き起こす微生物を病原体といい、これが我々の体内へと侵入し増殖することにより発症します。いったん私たちの身体に入ってくると私たちの身体は抵抗し、その病原体に対する防御を作ります。これを免疫と呼び、ワクチンはこの仕組みを利用して**身体に免疫をつけるために接種**します。



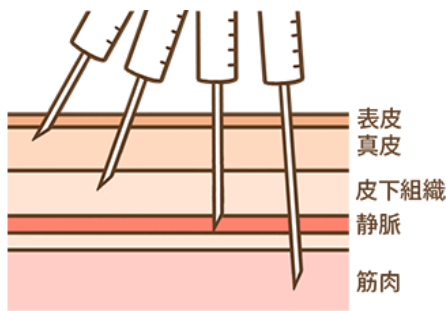
✓ ワクチンの分類 (代表的なもの)

ワクチンの種類	製造方法	特徴	例
弱毒生ワクチン	病原体となるウイルスや細菌の 毒性を弱毒化したもの を原材料として製造。	毒性が弱められたウイルスや細菌が体内で増殖することで免疫を高めていくので、 接種回数が少ない 。	MR(風疹麻疹混合)ワクチン BCG(結核) おたふくかぜワクチン など
不活化ワクチン	病原体となるウイルスや細菌の 感染する能力を失わせたもの を原材料として製造。	自然感染や弱毒生ワクチンと比較して作られる免疫が少ないため、 通常は複数回の接種が必要 。	インフルエンザワクチン 日本脳炎ワクチン 3種混合ワクチン など
トキソイド	病原体となる細菌の 毒素のみを取り出し、毒性をなくし て作られる。	不活化ワクチン同様、 複数回の接種 をすることが多い。	ジフテリア 破傷風

✓ 投与経路の違い

大きく分けて4つに分けることができます。浅い順に皮内注射、皮下注射、静脈内注射、筋肉注射です。これ以外にも経口タイプの

ワクチンがあり、日本ではロタウイルスのワクチンで使われています。結核のワクチン(BCG)は管針法が用いられており、ハンコ注射と呼ばれている予防注射です。



種類	特徴
皮内注射	薬物での治療ではなく、アレルギーの 検査 などで使われる。
皮下注射	筋肉注射に比べて効果が表れるのは遅いが、 効果が持続 する。予防接種の多くはこの方法。
静脈内注射	最も 早く効果が表れる 。同時に副作用が現れるのも早い。
筋肉注射	皮下注射の約2倍の速度 で効果が表れる。



✓ ワクチンの安全性

ワクチン接種後に免疫をつけるという**本来の目的**

以外に出てくる好ましくない症状を副反応といいます。

多くは接種部位の痛みや腫れ、微熱であり、症状は1～3日で引くことが多いですが、まれに重篤な反応が出ることもあります。また生ワクチン、不活化ワクチンに関わらず、副反応には発症メカニズムに応じて一定のパターンがあります。有名なものでは**アナフィラキシーで接種後30～60分に皮膚や呼吸器症状**が現れ、次いで循環器の症状が出てきます。(東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ワクチン科学分野 石井健 研究室 homepage より抜粋)

日本では万が一の**ワクチン健康被害に対して救済する制度**があります。定期接種、任意接種によって救済制度が多少異なります。

✓ 健康被害救済制度

○定期接種の場合

予防接種健康被害救済制度と呼ばれます。予防接種法に基づく予防接種を受けられた方で健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたものである厚生労働大臣が認定したとき、市町村から給付される制度です。申請に必要な手続等では予防接種を受けられた市町村に確認してみてください。



○任意接種の場合

医薬品副作用被害救済制度及び生物由来製品感染等被害救済制度と呼ばれます。これは医薬品等を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による健康被害者に対して各種の副作用救済給付を行い、被害者の救済を図ることを目的とした制度です。副作用救済給付の請求は、健康給付を受けた本人が請求書に診断書など必要書類を添えて PMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)に直接行います。詳しくはPMDAのホームページを見てください。

海外ではファイザー社、モデルナ社の新型コロナワクチン接種が始まっていて、すでに1億5000万回のワクチンが接種されています。(2021年2月上旬時点)日本でも徐々にワクチン接種が始まっていますが、まだまだこれからです。インターネット等の情報は信ぴょう性に欠けるものも多いので、情報に振り回されないように注意しましょう。

飲み合わせや気になる症状など、

何かありましたらいつでもご相談ください！

